

一般社団法人 薬学教育協議会

第 34 回理事会議事録

日 時：平成 25 年 11 月 22 日（金） 14:00～16:00

場 所：東京ガーデンパレス 3F 桂

出席者：別記 1

配付書類：別記 2

○定足数について

理事総数 18 名中、11 名の理事が出席した。定款第 37 条に定める定足数を満たしているので、本日の理事会は成立すると須田事務局長が報告した。また、監事 2 名、顧問 3 名が出席されている旨、報告があった。

○協議事項

- 1) 会員の入会
- 2) 実務実習契約書の見直しについて
- 3) 理念と目的の修正について
- 4) その他

1. 会員の入会について

本年度定款改定において会員制を敷き、定款第 6 条により入会は理事会の承認事項と改めた。これに基づき、薬学教育に関連のある諸団体の一部（資料 1-1）に望月代表理事が入会勧誘を行っている。本年度は資料 1-3 に記す 5 団体から入会の申請があったことが望月代表理事より報告された。

5 団体について、平成 26 年度から正会員として入会することに全員異議なく承認された。また、独立行政法人医薬品医療機器総合機構については今後照会することが認められた。他団体については、予め理事会の了承を得たうえで訪問することを決めた。

2. 実務実習契約書の見直しについて

薬学教育協議会は、実務実習開始前に、大学と受け入れ施設とで実務実習に関する契約を取り交わすよう、病院・薬局実務実習中央調整機構委員会の議を経て契約書のひな型を呈示している。今年 4 月に匿名で、この契約書のひな型について記載の不備が指摘された。指摘内容の妥当性を業務執行理事会で協議した結果、来年度実習に向けて修正を加えることが適当と判断したので、事務局で修正案を作成したと、須田事務局長より説明があった。

協議の結果、修正案（資料 2-2）を検討のうえ、意見は事務局に寄せてもらい、修正を加え、改めてひな型を作成する。この作成案は病院・薬局実務実習中央調整機構委員会に諮ったのち、最終的には三輪監事、齋藤監事に確認をお願いすることを決めた。

3. 「薬学教育協議会の理念・目的」の修正について

先の理事会及び社員総会で呈示した標記文書において、薬学教育協議会の目的（定款第3条）に係わる「公衆衛生」、「セルフメディケーション」の文言が含まれていないとの指摘があったので、これらの語句を含めた修正案を作成したと、望月代表理事より説明があった。

平成22年厚生労働省からの通知に基づき、「薬の専門家」は「薬の専門職」とすべきとの指摘があり、修正することを決めた。現行の理念と目的4項8)本文1行目についても、同様に修正する。

また、理念と目的修正案（資料3-2）4行目「臨床能力の高い」から「一薬学を構築することを支援し、」を削除することを決めた。

「セルフメディケーション」については、理念と目的になじまないのではないか、盛り込み過ぎではないか等の意見が出されたが、最終的には代表理事に一任することを決めた。

下から2行目「一健康の増進を図ることを支援するとともに、次代の」については、定款と文言を合わせ「一健康の増進を図るとともに、次代の」とすることを決めた。

4. その他

理事が理事会を欠席する場合について、これまではオブザーバー参加を認めていなかったが、今後理事会運営規則を作成し、明文化することを決めた。

内容は、理事会を欠席する場合、代理のオブザーバーを出席させることができる。ただし議決権はなく、議題によっては一次退席する。

○報告事項

- 1) 第1回教科担当教員中央会議の報告
- 2) 文部科学省 大学における医療人養成推進等委託事業への応募申請
- 3) 組織のあり方（本部・支部の関係）
- 4) 薬学教育協議会ウェブサイトの構築について
- 5) アジア薬科大学協会 第3回薬学部長フォーラムについて
- 6) その他

1. 第1回教科担当教員中央会議について

望月代表理事から、各教科担当教員会議が情報を共有し、よりよいものにするため、教科担当教員中央会議を開催したこと、また、これらの成果に基づき、いずれは薬学教育カリキュラム評価検討委員会を立ち上げる予定であるとの報告があった。また、第1回教科担当教員中央会議議事録(資料4)を引用して、今後の教科担当教員会議の在り方について意見交換した中で、次年度からは臨床化学関連教科担当教員会議と病態検査関連教科検討委員会を「臨床科目担当教員会議」として統合することを決定した旨の報告があった。

2. 文部科学省委託事業について

平成 25 年度 大学における医療人養成推進等委託事業として、文科省より公募のあったテーマ（資料 5-1）①薬学教育の現状と課題に関する調査研究について、実施計画書（資料 5-2）を作成し応募した結果、1 年目の事業について採択されたと、須田事務局長より報告があった。また、予算の上限を 250 万円、事業は平成 25 年 12 月 2 日から平成 26 年 3 月 31 日として 1 年ごとに申請すると報告された。なお、本事業は、薬学教育協議会の薬学教育調査・研究・評価委員会（担当業務執行理事は掛見業務執行理事）が行う。

また、本事業には日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、各大学の協力が必要となるため、代表理事から協力のお願いがあった。

3. 組織のあり方について

須田事務局長より、会計士事務所円城寺レポート（資料 6）に基づき、法人における本部・支部のあり方について説明があった。また、公益財団法人公益法人協会にも法人運営のあり方について相談したので、その結果を取り纏め、理事会及び監事に報告する予定であるとの報告があった。

4. 薬学教育協議会ウェブサイトの構築について

薬学教育協議会のウェブサイトリニューアルについて、資料 8（薬学教育協議会ウェブサイト トップページ）に基づき、事務局より説明があった。

今後、事務局より 2 ヶ月に一度程度ニュースレターを会員に発信する予定であること、また、会員からの情報も発信することを報告した。

また、理事会議事録は 3 週間を目処にウェブサイトに公開できるようにすることを確認した。

5. アジア薬科大学協会 第 3 回薬学部長フォーラムについて

第 3 回薬学部長フォーラム組織委員委員長である、伊藤業務執行理事より資料 7-1（アジア薬科大学協会 第 3 回薬学部長フォーラム開催趣意書）に基づき、説明があった。

また、同組織委員である富田業務執行理事より、募金や広告掲載を依頼するにあたり、伝手があれば教えてほしいとの願いがあった。

6. その他

先日開催された新 6 者懇（新薬剤師養成問題懇談会）において、実務実習における新しいモデル・コアカリキュラムの運用について検討する連絡会議を作ることが決まり、今後は連絡会議において、薬学教育協議会として意見を出すことが報告された。

以上、相違ありません。

平成 25 年 12 月 12 日

一般社団法人 薬学教育協議会

代表理事 望 月 正 隆

監 事 三 輪 亮 寿

監 事 齊 藤 勲

別記1 一般社団法人 薬学教育協議会 第34回理事会出席者名簿

| | 氏名 (敬称略) | 所属 | 出欠 |
|--------|----------|----------------------|----|
| 代表理事 | 望月 正隆 | 学識経験者 (東京理科大学教授) | ○ |
| 業務執行理事 | 須田 晃治 | 学識経験者(明治薬科大学名誉教授) | ○ |
| 業務執行理事 | 伊藤 智夫 | 北里大学薬学部 | ○ |
| 業務執行理事 | 増野 匡彦 | 慶應義塾大学薬学部 | ○ |
| 業務執行理事 | 掛見 正郎 | 学識経験者(大阪薬科大学教授) | ○ |
| 業務執行理事 | 富田 基郎 | 学識経験者(昭和大学名誉教授) | ○ |
| 理事 | 大島 吉輝 | 東北大学大学院薬学研究科 | 欠 |
| 理事 | 佐治 英郎 | 京都大学大学院薬学研究科 | 欠 |
| 理事 | 山元 俊憲 | 昭和大学薬学部 | 欠 |
| 理事 | 乾 賢一 | 京都薬科大学 | ○ |
| 理事 | 棚橋 孝雄 | 神戸薬科大学 | ○ |
| 理事 | 市川 厚 | 武庫川女子大学薬学部 | 欠 |
| 理事 | 森山 芳則 | 国公立大学薬学部長 (科長・学長) 会議 | 欠 |
| 理事 | 井上 圭三 | 一般社団法人日本私立薬科大学協会 | ○ |
| 理事 | 児玉 孝 | 公益社団法人日本薬剤師会 | 欠 |
| 理事 | 北田 光一 | 一般社団法人日本病院薬剤師会 | ○ |
| 理事 | 豊島 聰 | (財) 日本薬剤師研修センター | ○ |
| 理事 | 柴崎 正勝 | 公益社団法人日本薬学会 | 欠 |

| | | | |
|----|-------|-----------------------|---|
| 顧問 | 辻 章夫 | 昭和大学名誉教授 | ○ |
| 顧問 | 井村 伸正 | 公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター | ○ |
| 顧問 | 百瀬 和享 | 昭和大学名誉教授 | ○ |

| | | | |
|----|-------|---------------------|---|
| 監事 | 三輪 亮寿 | 三輪亮寿法律事務所 | ○ |
| 監事 | 齊藤 勲 | 公益財団法人 日本食品化学研究振興財団 | ○ |

別記2 配布資料

| | |
|--------|-----------------------------|
| 資料 1-1 | くすりの関連団体 |
| 資料 1-2 | 訪問歴・入会申請状況 |
| 資料 1-3 | 入会申請書 |
| 資料 1-4 | 会員規則・定款抜粋 |
| 資料 2-1 | 実務実習契約書についてのクレーム |
| 資料 2-2 | 学生の実習に関する契約書（修正案・対比表） |
| 資料 3-1 | 薬学教育協議会 理念と目的 |
| 資料 3-2 | 理念と目的 修正案 |
| 資料 4 | 第1回教科担当教員中央会議議事録 |
| 資料 5-1 | 文科省公募テーマ |
| 資料 5-2 | 医療人養成推進事業実施計画書 |
| 資料 6 | 本部・支部組織のあり方（会計士事務所円城寺レポート） |
| 資料 7-1 | アジア薬科大学協会 第3回薬学部長フォーラム開催趣意書 |
| 資料 7-2 | リーフレット |
| 資料 8 | 薬学教育協議会ウェブサイト トップページ |